

### 第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

#### ■令和3年度 第1回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

##### ・インフラ等の液状化被害推定手法の高精度化（終了時評価）

評価結果を踏まえ、本成果の活用・展開に向け、情報・データの効率的な取得・更新方法や、共有する仕組み作りについて、本成果の利用者の状況等を十分に踏まえつつ、引き続き検討して参りたい。また、今後、リスク評価方法の検討を実施する際は、地下水位の適切な反映方法やネットワークとしての評価等、指摘いただいた内容に留意しながら検討して参りたい。

##### ・重要インフラの即時被害検知・強震モニタリングシステムの開発（終了時評価）

評価結果を踏まえ、学会などをはじめとする様々な場面で本研究成果の公表を積極的に行い、研究成果の公表にあたっては、学術的観点のみならず、本モニタリングシステムのコストや耐久性等、導入にあたって参考となる情報の公表を行って参りたい。その上で、観測データについても関連研究等で広く活用されるように、記録の整理・確認や関係機関との必要な調整等を実施した上で公表して参りたい。

また、観測データを活用した重要インフラの地震時挙動の解明や即時の被害検知手法の開発に向けては、多様な分野との連携を図りながら研究を遂行して参りたい。

#### ■令和3年度 第2回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

##### ・RC造マンションの既存住宅状況調査等の効率化に向けたデジタル新技術の適合性評価基準の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、下記のとおり研究を進めて参りたい。

- ・デジタル化のためのコストの算出やコストの抑制方法についても留意して検討を進める。
- ・将来にわたり維持管理に活用できるデータとなるよう留意して検討を進める。
- ・大規模修繕の実施時の調査といった他の調査やマンション管理業務との連携・情報共有についても留意して検討を進める。
- ・検査を実施する人材の育成についても留意して検討を進める。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・既存オフィスビル等の省エネ化に向けた現況診断に基づく改修設計法に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、下記のとおり研究を進めて参りたい。

- ・建物所有者や設計者に対する技術的な資料だけではなく、建物利用者に省エネ化・脱炭素化の意義や建物の効果的な使い方を理解してもらい行動変容を促すための資料についても検討する。
  - ・開発する現況診断法について、一次診断、二次診断等に分け、簡易に行う一次診断で省エネポテンシャルの概算や外皮改修の必要性（防露性や気密性の診断を含む。）を早い段階で判断できるように留意する。
  - ・様々な規模、築年数、構造、用途の建築物に対して、その特徴の違いを踏まえたうえで、多くの建築物に適用可能な改修設計法の開発を行う。
  - ・国土交通本省や地方自治体との連携を強化し、本研究で開発する改修設計法や費用対効果予測ツールが実際の省エネ施策に活用可能なものになるように留意して研究を進める。
- その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ■令和3年度 第3回 国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

#### ・脱炭素化の推進に向けた沿岸環境保全技術における炭素貯留効果を最大化する手法の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、下記のとおり研究を進めて参りたい。

- ・浚渫土砂を干潟・藻場における二酸化炭素の貯留と考えるだけではなく、防災における活用などより付加価値を付けることも考慮して検討を進めていくこととする。
- ・炭素残存率の定量化について、現地調査および室内実験を通じて、適切な算定手法を検討する。
- ・港湾毎に異なる浚渫土砂の性状や造成干潟・藻場の構造など、炭素貯留効果に影響を及ぼす要素を明確にすることに留意する。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・効率的な維持管理に向けた既存港湾施設のBIM/CIM構築手法に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、下記のとおり研究を進めて参りたい。

- ・港湾施設の点検診断・維持管理を実施している関係者から意見を聴取し、点検診断・維持管理業務の実態を踏まえたBIM/CIM要件を検討する。
- ・既存港湾施設のBIM/CIMは、複数の関係者が共有・使用することに留意して検討を行う。
- ・港湾施設の点検診断・維持管理に関係する既存資料や関連するデータ類との連携を考慮して検討を行う。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。